



Title	彙報（1972年10月～1973年9月の研究活動）
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学学報. 1974, 32, p. 87-96
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/80532">https://hdl.handle.net/11094/80532</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 彙 報

(1972年10月～1973年9月の研究活動)



# 彙 報

(1972年10月～1973年9月の研究活動)

I 本期間中に学報のほか、次の研究誌が発行された。

『評林』XI (大阪外国語大学 法経学会, 1972年11月30日)

(論説)

- |                                                  |       |
|--------------------------------------------------|-------|
| 1. 時効取得における無過失                                   | 貝田 守  |
| 2. 環境が M. Arnold に与えた影響                          | 上山 政義 |
| 3. Complication of Absurdity in a Burnt-out Case | 信岡 春樹 |
| 4. 「目的制限肯定説」と政治献金Ⅱ 是認論の吟味                        | 竹田 寿紀 |

『評林』XII (大阪外国語大学 法経学会, 1973年3月30日)

(論説)

- |                                      |       |
|--------------------------------------|-------|
| 1. 東ヨーロッパ史の諸問題                       | 広実源太郎 |
| 2. 身体トレーニングにおける尿酸塩基平衡に対する低蛋白質の影響について | 辻 忠   |
| 3. M. アーノルドの “Study of Poetry”       | 上山 政義 |
| 4. 円切上げ後の中小輸出工業<br>(判例批評)            | 山本 順一 |
| 5. 株券発行前の株式譲渡<br>(展望)                | 竹田 寿紀 |
| 6. 最近のドイツ哲学会                         | 大峯 顕  |

『études françaises 11』(中原俊夫教授・上村清太郎教授退官記念号)

(大阪外国語大学 フランス研究会1973年3月25日)

## 1. CHASSE-COUSIN

— フランス語における複合名詞合成法をめぐって —

玉村 文郎

## 2. 接続法の使用度

松井 三郎

## 3. ジュリアン・グリーンの出発

— 『地上の旅人』を中心に —

原田 武

## 4. ヴァレリイとマラルメ

岩間 正邦

## 5. Giraudoux 劇の女性—Electre の問題

赤木富美子

## 6. Proudhon と2月革命(2)

黒木 義典

## 7. 16世紀フランスにおける実質賃金

竹岡 敬温

## 8. 外語を出てから

中原 俊夫

## 9. 退官雑感

上村清太郎

『Estudios Hispánicos 3』(大阪外国語大学 イスパニア語研究室, 1973年3月30日)

- |                                                                                                                   |                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 1. Dos Cartas del Padre Luis Frois, S. J. sobre la Desavenencia Hispano-Portuguesa en la Compañía de Jesús (1596) | J. L. Alvarez-Taladriz |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|

(語学)

- |                          |       |
|--------------------------|-------|
| 2. Poema de Mío Cid (邦訳) | 中岡 省治 |
| 3. 格文法とスペイン語再帰文の動作主格     | 出口 厚実 |
| 4. 口蓋子音の生成についての考察        | 伊藤 太吾 |

(文学)

5. Pájaro de Verdad (真実の鳥) 型の昔話について 三原 幸久

(文化)

6. 独立戦争とゴヤ 森本 久夫

(政治・経済)

7. 現行のコマンド遺制—経営者と寄託資本主 山崎 俊夫

『IDUN』(大阪外国語大学 デンマーク語研究室, 1973年 9月 1日)

1. デンマーク語の閉鎖音 間瀬 英夫

2. カーレン・ブリクセン—「詩人」における小説技法とその内容— 岡田 令子

3. スノツリ・ストウルルソン—研究ノート— 菅原 邦城

4. „Gennem Nøglehullet“ : KABUKI I. R. van Pijin

II 本学所属教官の著書・訳書 (A), 雑誌掲載論文 (B), および口頭研究発術 (C) は次のとおりである。これは1973年 9月30日までに回答をよせられたものの集録である。

〔中国語学科〕

大河内康憲

B. 1. 日中対照文法論 (主語及びそれとかがわる問題) 日本語と日本語教育—語法編— 1973. 9. 30

2. 倉石武四郎「中国語五十年」(書評) 野草第11号 1973. 6. 30

〔モンゴル語学科〕

橋本 勝

B. 1. 中世モンゴル語の未来形動詞語尾について アジア・アフリカ文法研究 第2号 1973. 3. 8

C. 1. モンゴル語の未来形動詞について 「アジア・アフリカ文法調査票」研究会 1972. 11. 10

2. 中世モンゴル語の一文法範疇 日本モンゴル学会 1973. 5. 19

〔インドネシア語学科〕

中西 竜雄

B. 1. インドネシアの古代歌謡「パントウン」について—我が国古代歌謡との比較研究— 大阪外大学報第29号 1973. 2. 28

2. インドネシア語表記法の改正とその歴史的背景 MALINDO 研究第1号 1973. 3. 30

森村 蕃

C. インドネシア語・マレー語にみるアラビア語受動分詞からの借用語のいくつかの特徴 インドネシア学会 拓殖大学 1972. 11. 25

〔インド・パキスタン語学科〕

加賀谷 寛

B. 1. A Chronology of Modern Urdu Literature : 1800-to date 大阪外大学報 第29号 1973. 2. 28

村田忠兵衛

B. 1. 大壺石浜純太郎先生：人と生涯 (特に大阪人として) 懐徳 42号 1972年秋季

2. 慈雲の梵学 大阪外大学報 第29号 1973. 2. 28

浜口 恒夫			
A. 1.	独立後の農業問題と土地改革	中村平治編「インド現代史の展望」青木書店	1972. 11. 25
溝上 富夫			
B. 1.	現代ベンガル語における <i>videśī</i> 借用語について	大阪外大学報 第29号	1973. 2. 28
	2. On Arabo-Persian Elements in Modern Bengali	Journal of Indian and Buddhist Studies. Vol. XXI No. 2	1973. 3
C. 1.	ヒンディー語の複合動詞について	アジア・アフリカ言語文化研究所	1973. 3. 30
	2. Sādhū Bhāṣa と Calit Bhāṣa	九州大学	1973. 5. 6
〔タイ語学科〕			
吉川 利治			
A. 1.	A Selected Thai Bibliography on the Reign of King Chulalongkorn (共編)	大阪外大タイ語研究室	1972. 10
B. 1.	タイ族におけるジャータカの伝承	大阪外大学報 第29号	1973. 2. 28
	2. Prawattisat Lsan (書評)	東南アジア —歴史と文化—	1972. 10
〔ビルマ語学科〕			
服部 正一			
B. 1.	ウ・チン・ウとウ・ボン・ニヤの作品について	鹿児島大学史録 第5号	1972. 9. 1
	2. インワ王朝時代との関連におけるアラカン王朝の概況	大阪外大学報 第29号	1973. 2. 28
大野 徹			
A. 1.	ビルマ	松本重治編「東南アジア・ハンドブック」	1972. 12
B. 1.	コンバウン時代のビルマの判例	東南アジア —歴史と文化— No. 2	1972. 10
	2. シャン族	週刊アルファ大世界百科 116号	1972. 12
	3. ビルマ文化の予備調査を終えて(座談会記事)	アジア・レビュー 14号	1973. 6
	4. ビルマ	財界展望臨時増刊	1973. 7
〔ペルシア語学科〕			
勝藤 猛			
A. 1.	成吉思汗—草原の世界帝国	清水書院	1972. 1. 25
B. 1.	前嶋信次「東西文化交流の諸相」(書評)	東洋史研究30ノ4	1972. 3. 30
	2. (書評) ジングス・カンの出現	歴史と人物	1972. 4. 1
〔英語学科〕			
金山 崇			
B.	モールドンの戦い—古英詩試訳	大阪外大学報 29	1973. 2. 28

上山 政義		
B.1. 環境がM.アーノルドに与えた影響	評林 11号	1972.11.30
2. M.アーノルドの批評の現代的意義	学報 29号	1973.2.28
M.アーノルドの“Study of Poetry”	評林 12号	1973.3.30
好田 実		
B. Stand vs Stand Up	大阪外大学報 29号	1973.2.28
大井 浩二		
A.1. アメリカ自然主義文学論	研究社	1973.4.10
2. E. H. Erikson: Identity and the Modern World (注解)	研究社	1973.2.20
B.1. V. L. Parrington 再考	大阪外大学報 29号	1973.2.28
2. V. L. Parrington とアメリカ神話	英語文学世界 8巻1号	1973.3.20
C.1. アメリカ文学研究の課題 (フォーラム)	日本アメリカ文学会関西支部大会	1972.12.3
2. Nathanael West のアメリカ性	日本英文学会第45回大会	1973.5.6
田川 弘雄		
A. Eric Hoffer: The Temper of Our Time (注解)	文理	1972.11.30
B. オニール「終りなき日々」—結末についての伝記的考察	大阪外大学報 29号	1973.2.28
池上日出夫		
B. J. ボールドウィンの熱気と空虚さと—「アナザ・カントリ」にそくして	黒人研究 44号	1972.12
〔ドイツ語学科〕		
八木 浩		
A.1. H・カウフマン:ハイネ・詩と精神の展開 (共訳)	ミネルヴァ書房	1973.4.5
2. ブレヒト:メ・ティエ転機の本 (教材)	芸林書房	1973.9.15
B. ブレヒトと現代劇	民主文学 10月号	1973.9.1
C. クラウス・トレーガー論	ワイマル友の会	1973.7.20
布施 俊夫		
B. 第三帝国の教育政策	大阪外大学報 29号	1973.2.28
乙政 潤		
A. 改訂普及版カセット 生きた初級ドイツ語 (共著, 独習書)	文林書院	1972.11.20
B.1. Olechowski: Das Sprachlabor (書評)	ドイツ文学論攷 XIV	1972.12.25
2. 口頭練習と視覚資料	大阪外大学報 29号	1973.2.28
C. テストについての分析と反省	語学ラボラトリー学会, 昭和48年度全国大会, 大学未修語部会	1973.7.24
井上 純一		
B.1. 現代における「啓蒙」の論理—人間的自然の再興をめざして (序)	大阪外大学報 29号	1973.2.28

2. 「批判的理論」の視点	Sprache und Kultur8号	1973. 9
3. 意思疎通行為論への道—J・ハバーマスの「認識と利害」新版あとがきをめぐって—	日本読書新聞 1715号	1973. 7. 23
村田 武		
A. 1. 南山城村の農業を発展させるために—農村調査報告	京都府農業会議	1973. 8
2. 西ドイツにおける大農業経営	『現代農業と小農問題』(有斐閣) 所収	1972. 6
B. 1. EC共通農業政策のもとでの西ドイツ農業構造政策—とくにSPD政権のエルトル・プランを中心に—	Sprache und Kultur8号	1973. 9
2. 革新自治体の農政	経済科学通信 1973年8月号	1973. 8
芦田 亘		
A. 国際分業再編の財政政策(肩がわり財政と社会資本投資財政)	『世界恐慌と資本輸出』(青木書店) 所収	1973. 5
B. 1. 30年代ドイツにおける為替管理政策と「通貨自主権」	大阪外大学報 29号	1973. 2. 28
2. 帝国主義の経済的危機の理論—国家独占資本主義論の一視点—	経済学基礎理論研究所「経済科学通信」6号	1973. 7
〔言語学〕		
崎山 理		
A. 1. 外間守善編『沖縄文化論叢—言語編』(共著)	平凡社	1972. 11. 17
2. アンドレ・マルティネ編『近代言語学大系—4』(共訳解説)	紀伊国屋書店	1972. 12. 25
B. 1. インドネシア語の新しい構文—歴史的・比較的考察—	「アジア・アフリカ文法研究」2号	1973. 3. 8
2. インドネシアの古典語・地方語—ジャワ語を中心として—	「海外事情」21巻5号	1973. 5. 5
C. 1. インドネシアの歴史と文化	アジア市民大学講座(大阪府立労働会館)	1973. 2. 14
2. 東南アジア諸語と日本語	日本語指導者養成セミナー(神戸YWCA)	1973. 9. 19
〔デンマーク語科〕		
岡田 令子		
B. 1. カーレン・ブリクセン: 人とその作品についての小論	大阪外大学報第 29号	1973. 2. 28
2. カーレン・ブリクセン「詩人」における小説技法とその内容	IDUN I	1973. 9. 1
C. 1. 「現代デンマーク語について」	大阪言語研究会第14回例会	1972. 10. 14
間瀬 英夫		
B. 1. Der Gegensatz r : dr der Fidschi-Sprache	ORBIS Vol. XXI	1972. 秋
2. A Study of the role of syllable and mora for the tonal manifestation in West Greenlandic.	Annual Report of the Institute of Phonetics University of Copenhagen. Vol. 7	1973. 7
3. デンマーク語の閉鎖音	IDUN I	1973. 9. 1

C.1. 「ことばと文化—デンマーク」	大阪外大第4回市民講座	1973. 8. 18
菅原 邦城		
A.1. E・ヴェセーン『北欧の言語』（翻訳）	東海大学出版会（北欧文化シリーズ）	1973. 9. 25
B.1. 「デンマーク語の移り変り」	北欧文化通信社「北欧」第2号	1973. 2. 1
2. 「スノッリの『エッダ』序文にみられる異教神話観」	大阪外大大学報 第29号	1973. 2. 28
3. 「スノッリ・ストゥルルソン—研究ノート—」	IDUN I	1973. 9. 1
4. 「ヴァイッテンランの三人の王女」（ノルウェー民話紹介）	北欧文化通信社「北欧」第3号	1973. 5. 1
〔フランス語学科〕		
黒木 義典		
B.1. Proudhon と2月革命(2)	études françaises 11	1973. 3. 25
赤木富美子		
B.1. Giraudoux 劇の女性—Sodomne et Gommorrhe の問題	大阪外大大学報 第29号	1973. 2. 28
2. Giraudoux 劇の女性—Electre の問題	études françaises 11	1973. 3. 25
原田 武		
B.1. ジュリアン・グリーンの出発—『地上の旅人』を中心に—	études françaises 11	1973. 3. 25
松井 三郎		
A.1. 初級フランス語の文法	第三書房	1973. 3. 15
B.1. 接続法の使用度	études françaises 11	1973. 3. 25
岩間 正邦		
B.1. ヴァレリイとマラルメ	études françaises 11	1973. 3. 25
〔イスパニア語学科〕		
山崎 俊夫		
A.1. Gestores y Comanditarios (所有と経営)	芸林書房	1973. 2. 10
2. 国際構造比較の経営学 (上)	関西学院大学生生活協同組合出版委員会	1973. 1. 22
3. 国際構造比較の経営学 (中)	関西学院大学生生活協同組合出版委員会	1973. 9. 1
B.1. “Producción de Trabajo internaccional en desarrollo económico macional”	大阪外大大学報 第29号	1973. 2. 28
2. 「現行のコマンド遺制—経営者と寄託資本主—」	Estudios Hispánicos 3	1973. 3. 30
三原 幸久		
B.1. イスパニア文化圏における Pájaro de la Verdad (真実の鳥) 型の昔話について	Estudios Hispánicos 3	1973. 3. 30
C.1. 南欧文化圏における「継子と笛」型昔話	昔話研究懇談会第6回大会 (於東洋大学)	1973. 6. 23

出口 厚実		
B.1. S E受動文と再帰動詞のシンタクシス	HISPANICA 16	1972. 12. 20
2. スペイン語に主語代名詞削除は存在するか	大阪外大学報 第29号	1973. 2. 28
3. 格文法とスペイン語再帰文の動作主格	Estudios Hispánicos 3	1973. 3. 30
C.1. 人称代名詞配置・移動規則に関する考察	第18回日本イスパニア語学会 於 駒沢大学	1972. 11. 11
伊藤 太吾		
B.1. イスパニア語のラムブダキスムス	大阪外大学報 第29号	1973. 2. 28
2. 口蓋子音の生成について	Estudios Hispánicos 3	1973. 3. 30
〔歴史学〕		
外山 軍治		
A.1. 入門書道全集7 書の鑑賞 中国の書の部	実業之日本社	1973. 5. 1
B.1. 則天武后と光明皇后	四天王寺 387号	1973. 1. 10
2. 金章宗と李妃	大阪外大学報 29号	1973. 2. 28
C.1. 金章宗をめぐる	内陸アジア史学会大会 (東京外大)	1972. 11. 10
広実源太郎		
B.1. メッテルニヒ政治の一考察	原弘二郎先生古稀記念 東西文化史論集	1973. 1. 20
2. ウィーン革命の発端についての若干の考察	大阪外大学報 29号	1973. 2. 28
3. 東ヨーロッパ史の諸問題	評林 XII	1973. 3. 30
4. 市民文化の展開	大学ゼミナール 西洋史	1973. 4. 20
〔生物学〕		
世古口雄三		
C.1. 視細胞におけるイオンレベルの動き	文部省総合研究(A)昭和47年度研究成果集録「光感覚受容機能の分子的機構ならびに化学受容器の構造と機能」	1973. 1
〔教育心理学〕		
大沢 春吉		
A.1. 光誘発電位に及ぼす催眠暗示の効果について	成瀬悟策編：催眠シンポジウムⅣ 実験催眠学 誠信書房	1972. 12. 5
2. 脳電位測定法	宇阪良二編：心理学研究法第3巻実験Ⅱ 第5章 東大出版会	1973. 2. 20
〔体育〕		
辻 忠		
B.1. 身体トレーニングにおける尿酸塩基平衡に対する低蛋白食の影響について	評林 XII	1973. 3. 30

2. 循環機能及び尿中電解質排泄量に対するトレーニングの影響, 第1報, 生体の生理的諸反応のアンバランスについて	大阪外大学報 29号	1973. 2. 28
〔留学生別科〕		
吉田弥寿夫		
A. 1. 歌集『銀鈴』校異および注釈	日本近代文学大系 55 角川書店	1973. 9. 20
2. 尾上柴舟略伝および研究文献目録	〃 〃	〃
3. 歌集『覚めたる歌』校異および注釈	〃 〃	〃
4. 金子薫園略伝および研究文献目録	〃 〃	〃
5. 歌集『生くる日に』校異および注釈	〃 〃	〃
6. 前田夕暮略伝および研究文献目録	〃 〃	〃
B. 1. 古典現代名歌鑑賞	『大阪人』大阪市都市協 会	1972. 10. 1 ～連載中
2. 『現代短歌美と思想』評	『短歌』角川書店	1973. 1. 15
3. 定型短歌論	『雁』映像と定型詩のた めの同人誌	1973. 4. 10
4. 第二芸術論批判	『群落』復刊第1号	1973. 5. 20
5. なぜ喪失をうたうか	『関西アララギ』	1973. 8. 10
玉村 文郎		
B. 1. 漢字をあてる—『多情多根』表記考—	大阪外大学報 29号	1973. 2. 28
2. CHASSE—COUSIN —フランス語における 複合名詞合成法をめぐって—	études françaises 11	1973. 3. 25
3. ローマ字ばなれを—大阪外大留学生別科にお けるローマ字使用について—	日本語教育 18号	1973. 3. 30
4. 文型・文法・文法用語をめぐって	日本語教育 20号	1973. 8. 30
C. 1. 日本語とドイツ語	日独友好協会第10回夏期 ドイツ語講座	1973. 8. 10
2. 日本語の音韻の概説	昭和48年度日本語教育研 修会(現職者研修)	1973. 8. 13
3. 言語教育のすすめかた—論理的思考力をそだ てるために—	京都国語教育研究会特別 例会	1973. 9. 30
氏原 寛		
C. 1. 登校拒否の中学3年生(男子)の父親との面接 経過	日本教育心理学会第14回 総会	1972. 10. 14